





S-5 気候シナリオ「実感」プロジェクト

はじめに
～地球温暖化に対する対応では、なぜ、合意が難しいか？

東京大学
 サステナビリティ学連携研究機構
 地球持続戦略研究イニシアティブ統括ディレクター・教授
 住 明正

1



地球温暖化の予測と対策

将来の世界の社会経済発展
 ↓
 温室効果ガス等の排出量
 ↓
 温室効果ガス等の大気中濃度
 ↓
 気候の変化
 ↓
 人間社会・生態系への影響

緩和策(排出削減) 適応策

2



地球温暖化と地震・津波災害

- 両者には、共通点がある。
- 両方とも、**リスク**を与える！
- **未来**のこと
 - どのくらい先までを考えればいいか？
- **確率**分布
 - まれに起きる現象は無視？
- 対策に**お金**がかかる！
 - 出来れば払いたくない(なぜ、こう思うのだろう?)



備えあれば憂いなし

- **リスク**にどう備えるか？
 - どのみち、**100%**はない。
 - 「空振り」と「見逃し」
- **保険**
- 自動車保険はなぜ多くの人が入っているのか？
 - 強制(自賠責)
 - 事故の怖さを痛感している
- 個々人の覚悟が試される！



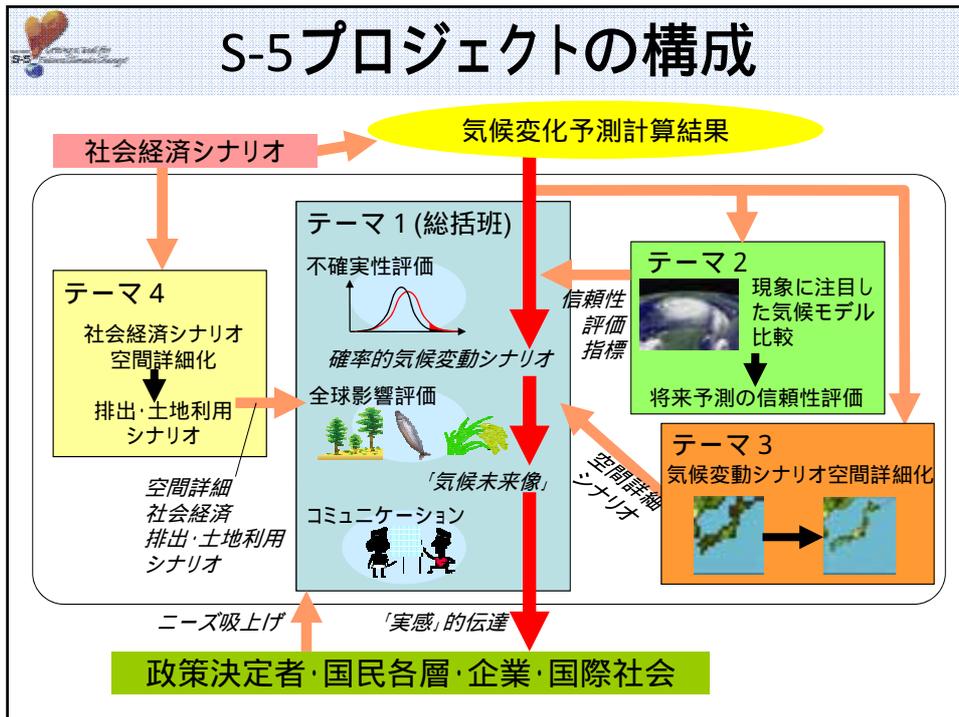
今回の東日本大震災が 明らかにしたこと

- サイエンスでは、地震の大きさはともかく、大津波の**可能性は指摘されていた**。
 - 指摘されていなかったのは、**何時か**？
- 「想定外」と思ったのは、人間の都合
 - 心理的要因、経済的要因、社会的要因
 - 本音は、「考えるのが面倒」、「**高くつく**」(?)
- **科学が提起している事態は、タイミングは別として、いずれ起きる**



地球温暖化問題も同じ

- 科学が、地球温暖化した**将来の気候状況**、および、**その影響**を、**それなりに**伝えている
 - しかし、**不確実性**が存在するために、判断に違いが出てくる
- モデルが完全でないということを理由に結果を無視したくなる。
 - 経済に影響が出る？ 大変だ？
- **目の前の危機**には大きく反応するが、**将来の危機**には反応が鈍いのが、人間の心理的特性



より具体的に将来の状態を 実感してもらいたい

- 現在の科学が与える情報を、より具体的に理解してもらいたい。
- **精度の限界と利用の仕方**
- **まれにしか起きない出来事に関するイメージが必要**
- 具体的な行動に関しては、**社会的な合意**を得ながら進めてゆく必要がある。